

～高齢者施設 感染症クイズ 解答～

① ノロウイルスは、消毒をしなければ、感染力を失うのに室温で5日間かかる。

→×

ノロウイルスは、適切な消毒をしなければ、4℃で2か月、室温で2週間、37℃で1週間、冷凍では数年、感染力を維持し続けます。

② ノロウイルスは、下痢などの症状が回復すれば、ふん便中に排泄されることはない。

→×

ノロウイルスの排泄は、症状が治まってからも1週間程度続き、人によっては2週間程度続くこともあります。

なお、ノロウイルスに感染していても発症しない場合や軽い風邪症状の場合もあります。平常時からの手洗いの励行と、職員・利用者の健康管理がとても重要です。

③ 施設内で結核患者が出た場合、患者と接触した職員と利用者は、ただちに健診を受けなければいけない。

→×

施設内で結核患者が出た場合、必要と判断されれば保健予防課職員が状況把握の調査に伺います。その上で接触した方のリストを出していただきます。保健所内で検討し、健診が必要と判断された方に健診の案内をします。施設の判断でただちに健診を受ける必要はありませんので、保健所からの指示を待ってください。

④ インフルエンザの予防接種を受けた場合、2～3日後からその効果がある。

→×

個人差がありますが、接種して2、3週間で効果があらわれ、約5か月後程度まで効果が続くと言われています。

⑤ ふん便・おう吐物が付着した床やトイレへの次亜塩素酸ナトリウム消毒液の濃度は、0.1% (1000ppm) である。

→○

詳しくは、福山市「ノロウイルス対応マニュアル」を参照してください。いつでも誰でも確認できるように、職員のみなさんでマニュアルが置いている場所を確認してください。